

令和5年度事業計画

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(株) 八尾サービス

〈基本方針〉

当社は、富山市の公共施設である八尾地域都市公園、神通川水辺プラザ自然ふれあい学習館、久婦須川ダム周辺広場、パインパーク、サンパーク、ゆめの森交流施設の指定管理業務を担うとともに、富山八尾中核工業団地の土地管理業務等を行い、自主財源の確保にも努めております。

さて、最近になっても新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束せず、さらに季節性インフルエンザも同時流行し、手洗いや三密回避等の感染対策を求められる日々が続いていますが、本年1月に発表された日本銀行の「さくらレポート」によれば、北陸地域の景気は全体感として「持ち直している」とされ、また需要項目別動向に掲げられる「個人消費」、「旅行取扱、ホテル・旅館の宿泊者数」のいずれも「持ち直している」と発表されました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の猛威は続き、時に高波となって押し寄せましたが、行動制限がなく、また富山県民割や全国旅行支援により国民一人ひとりの外出意欲も高まったことで、当社の収益の核となる温泉宿泊施設「ゆうゆう館」の宿泊者数はコロナ前の8割程度にまで回復いたしました。一方、ウィズコロナの生活様式が国民生活に浸透するにつれ、大人数で食事を取る機会は大きく減り、「ゆうゆう館」の宴会客数もコロナ前の3割以下に減少し、収益の三本柱の一つであるレストラン部門の経営を圧迫しております。

本年度については、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念など、日本経済を取り巻く環境が厳しさを増しており、これまでのような国・県の手厚い旅行支援を期待することは難しく、自立した施設経営が求められる年になると予想されます。加えて、ゆめの森交流施設では3か年の指定管理業務の最終年度を迎えます。

このため、良質なサービスの提供による再訪率の向上、広告等による積極的な営業、組織力の強化や事務処理の効率化などの経営努力を行い、少しでも収益目標に近づけてまいりたいと考えております。

これからも、地域に親しまれ信頼される企業を目指し、公益性に配慮しながら柔軟な発想を取り入れ、公的施設の管理運営、自主事業活動の推進を柱に、サービスの向上に取り組み、地域の発展に寄与してまいりたいと考えております。